



建築士

<http://chiba-kenchikushikai.com>

2025 Season60

令和7年1月1日発行

520

CHIBA



～成田山新勝寺の初日の出～写真提供:百瀬 登展(行政 OB)

【特集】 会長のご挨拶 / 建築指導課長のご挨拶

民家紀行 / I♥KK(Kenchikushi-kai) / 日本地域コンテンツ大賞 2024 アワード受賞

【青年委員会の頁】 一級建築士製図試験施設見学会を開催

【レポート・寄稿】 ～弁護士アジローがゆく～ #17 「株式会社チーかわ! ?の巻」 / 『全国大会 in 鹿児島県』(胃もたれ珍道中)

成田国際空港(株)・(株)ナリコー早生桐共同事業 / 中小企業診断士カッシーに聞け! ～見積書の利益基準を探る～

【SDGs・DX】 2030年に向けた国際目標SDGs

【スキルアップ】 『近年の建築士学科試験問題』紹介コーナー / 基準法であそぼ! 「空中のマラソンコース?!」

【ご案内】 【募集】 【表紙の説明】 【会員の動静】 【編集後記】



新年のごあいさつ

会長 久富 清敏

新年を迎え皆様におかれましては、素晴らしい年明けとなられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、千葉県建築士会の活動に多大なるご協力をいただきありがとうございます。今年も引き続き宜しく願い申し上げます。

令和7年の新年にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年は能登半島地震に始まり多くの自然災害がありました。いまだに復興もままならない状況でもあります。お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。改めて日本が自然災害の多い国であることを実感した次第です。

会員の皆様には、応急危険度判定へのボランティア活動にとどまらず、罹災証明発行の為に住家被害認定調査、復旧・復興のための建築相談等これからも多大なるご協力をお願いすることとなります。まずは、ご自身の命を守る行動をしたうえでご協力いただければと思います。

建築基準法は国民の生命・健康・財産を守ることが目的とされていますが、最低の基準を決めているにすぎません。逆に言えば、十分に生命・健康・財産を保護しようとするのであれば、これだけでは不十分である、という法律でもあります。このように最低基準としたのには、建築物は本来自由に建造できる権利があるものであるという考えが根底にあり、それを公の利益のために制限することは最低限に留めなければならないという考えに基づくものです。ですから、最低限のルールは守るが、それ以上の価値については自由に創れるものなのです。

本年の4月からは建築基準法及び建築物省エネ法の改正が施行されますが、その5年後の2030年にはZEH・ZEB水準の省エネ性能の確保を目指すこととなっています。法律順守は当たり前の事ではありますが、その先を見据えて事業主様に

寄り添った夢のある業務に取り組んでいただければと思います。

とはいえ、現行法の順守は必須でありますので、継続的に講習会等を開催し、スムーズな対応を目指しております。

今回、施行される基準法の改正内容は

- 1.四号特例の縮小
- 2.木造建築物の構造計算基準変更
- 3.大規模木造建築物の防火規定変更
- 4.中層木造建築物の耐火性能基準合理化
- 5.既存不適格建築物に対する現行基準の一部免除と多岐にわたっております。国土交通省と連携して会員以外の方々も対象とした建築士に対するサポート体制を構築していきます。今月から3月までの駆け込み需要にとどまらず、4月から6月までは、運用開始後の建築士へのフォローが必要と思いますので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。また、これを機にやはり専門団体への所属が必要であろうとの認識を持っていただき、会員増強につなげていければと思います。

自然災害の広域化、甚大化と合わせて制度改革の多様化が進み、これまで以上に技術の向上と人材のネットワークが必要とされていきます。

千葉県建築士会の45歳以下の会員数が全会員数の11%と入会しても定着していない状況があります。また、高齢化による退会が多く会員減少に歯止めがかからない状況ですが、建築士が生き生きと活動できる組織づくりを推進し、会員の底上げ、また、増強拡大を目指します。

最後に、本年もさまざまな活動を通じて、建築士の技術向上に励み、楽しい建築専門家集団を目指してまいりますので、会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の健康と活躍を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

千葉県県土整備部都市整備局建築指導課長 矢島 眞理

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

貴会には、二級建築士及び木造建築士の登録業務や建築士試験の実施、被災建築物応急危険度判定士認定講習会の開催など、県の建築行政に関し、日頃より多大な御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今年は、大阪・関西万博の開催が夢洲で4月に控えていますが、そのシンボルである「大屋根リング」は世界最大級の木造建築物であり、梁や床に国産の集成材を使用し、伝統的な貫接合に現代の工法を加えて建築しています。木材は開催後に企業に売却するなどにより再利用することが検討されており、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する取組として、今後注目されるところです。このように、建築分野においても、木材利用促進や建築物の省エネ化などの様々なかたちでSDGsの達成を推進していく必要があります。

また、昨年元日の能登半島地震では、建築物の倒壊や道路・水道等インフラの甚大な被害が発生し、中でも半島西側の内灘町・かほく市地域の沿岸部の建物被害や輪島市でのビル倒壊など、液状化による被害は建築関係者にとって衝撃的なものでありました。千葉県は、被災建築物応急危険度判定や住家被害認定調査、応急仮設住宅の建設検査の派遣を行い、半島性という共通の地理的特性を踏まえ、これらの派遣を通して得た知見を当県の防災・減災対策に活かす検討を行い、緊急輸送道路の整備や防災拠点建築物等の耐震化などを推進しています。

SDGsの達成に向けた法改正については、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅・建築物の省エネ対策を強力に進めるための「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等」の一部を改正す

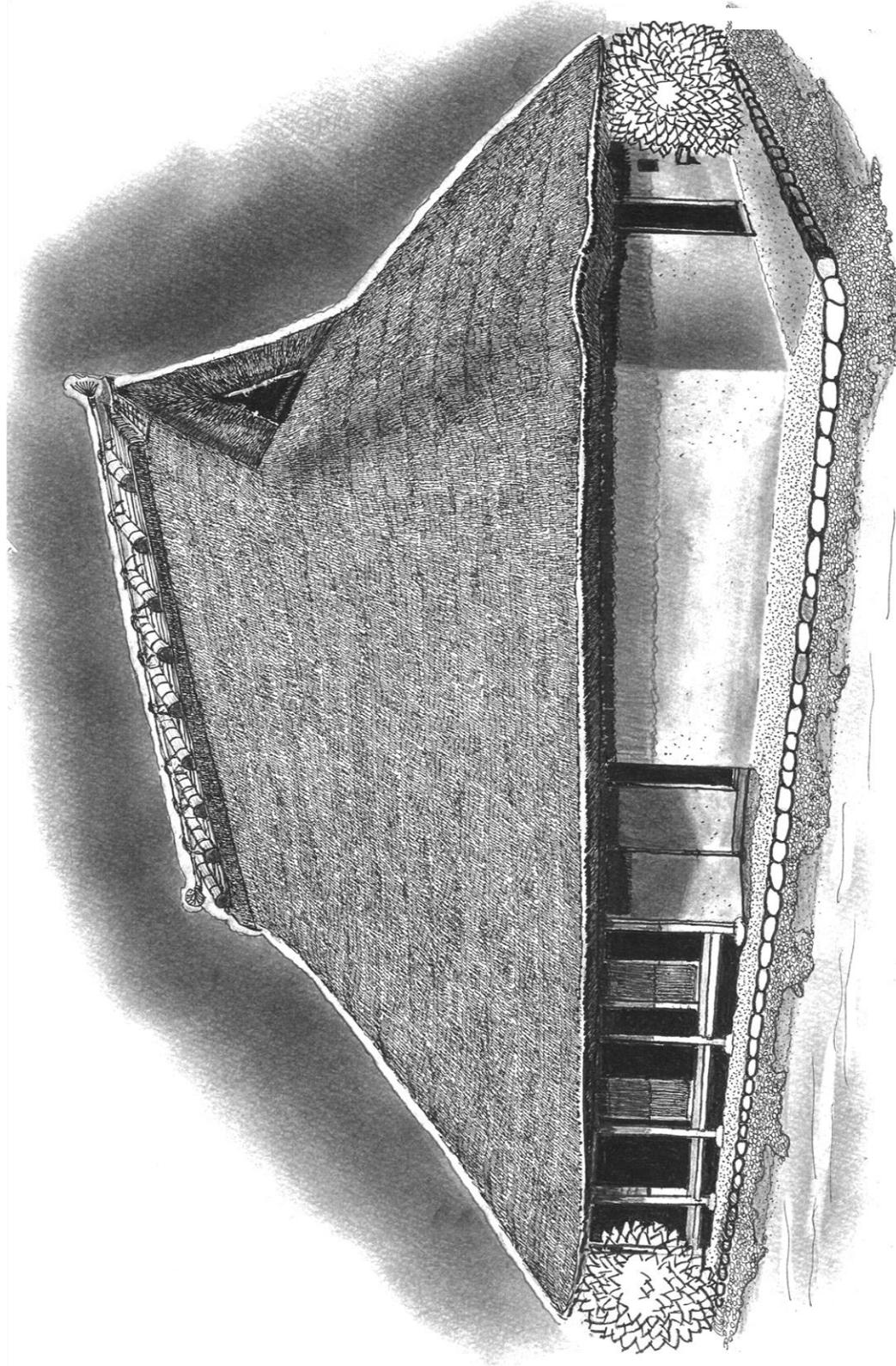
る法律」（3年以内施行関係）が今年4月1日に施行されます。建築基準法に係る主な改正内容としては、省エネ化に伴い重量化する建築物の構造安全性を審査プロセスで担保し、消費者が安心して建築物を整備・取得できる環境を整備するため、階数2以上又は延べ面積200㎡超の建築物は、構造種別によらず構造関係規定の審査が必要となり、都市計画区域等の区域外でも建築確認の対象になります。加えて、限定特定行政庁における建築主事等の木造建築物に関する事務の範囲は、地階を除く階数2以下かつ延べ面積300㎡以下かつ高さ16m以下のものに変更になります。また、建築物省エネ法に係る改正については、原則全ての住宅・建築物について省エネ基準適合が義務付けられます。国では、改正法の全面施行にあたり建築確認申請が円滑に行われるよう、改正法説明会を全国で開催するとともに、貴団体に御協力をいただき、申請に手慣れていない設計者に対する支援として建築士サポート体制を構築することとしています。

その他、千葉県では昨年4月から全面的にオンライン受付を実施している「建築士事務所登録」について普及が進み、「定期報告」「建築台帳記載証明書」もオンライン申請を可能にするなど、今後も建築行政のDXの推進に取り組んでまいります。

建築物の省エネ化や木材利用促進の取組を進めるうえで、建築士である会員の皆様の益々の御活躍が期待される所であり、今後も引き続き、建築行政への一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げまして、新年の御挨拶いたします。

軒先が低く、出入には腰をかがめて入る。現存日本最古といわれる美しい民家。板戸に深い歴史を刻む。



兵庫県神戸市北区山田町 箱木家住宅 室町時代の民家 日本最古重文 2607.11.29

神戸市北区山田町 箱木家住宅 道塚 元嘉 (千葉)



神戸市北区山田町 箱木家住宅

～室町時代後期の建築とみられる～

道塚 元嘉(千葉)

火吹竹とは、火を吹きおこすのに用いる重宝な竹筒のこと。太いもの細いものいろいろあるが、竹の幹の中間節をぬき、一番先の節に小さな穴をあけて、吹口から吹き込む息を一筋の風として送り出す民具。生活の変わった今では見ることもなく姿を消した。おそらく箱木家のカマドや囲炉裏で使用された時代もあったにちがいない。そんな炉明かりの暮らしを思い出しながら、どっしりと重い屋根をのせる箱木家を訪ねたのは山眠る仲冬の日だった。

神戸市文化財課の方の適切なアドバイスにしたがってスケッチを終えたのは幸せな事であった。現在の当主は素朴な方で、親切に協力して下さり人情が身にしみる。経年の長い民家の風貌があまりにも強烈で、山里に見事に映えて気持ちよい。その美しさには言葉に出来ない驚きであった。

箱木家が所在する神戸市北区山田町は、六甲山地の北側にある。周囲を山でかこまれた山田川流域に建ち、民家の裏手には物見のための小丘があった。室町・戦国時代に居住し、農業に従事した在野の武士で、数多く家来を抱えていたと伝えられる。箱木家にふさわしい屋敷を形成していた。

箱木家は俗に千年家の名で知られている。『箱木氏系図』には元禄3年(1690)に死去した伊兵衛氏の代に千年家の屋号を授けられたと記されている。また、江戸時代の古文書には、建築年代が大同元年(806)と記されたものもある。しかし、実際の建築年代はそれほどさかのぼらず、一般に中世に建築されたものだといわれている。とはいっても中世のいつなのか未だ謎のままである。

6本の柱と若干の梁、頭貫・腰貫等の遺構が残されていたのみで、外観をふくむ大部分は当時のものではない。しかも建具は1本も残されていなかったといわれる。ただ、現存する他の民家にくらべ、古いことは確かである。したがって諸説はあるが箱木家は15世紀、あるいはそれ以前に建てられた中世の民家ということにまちがいはない。

主屋は前座敷型3間取りで、正面に「おもて」背面に「おいえ」と「なんど」が並ぶ。土間の部分

は床上より広く、正面の隅には「うまや」がある。主屋柱は「おもて」妻側の1本だけを省略するほか1間ごとにすべてたち、下屋柱の中には上屋柱筋と関係なくたつものもあって古めかしい。柱は面取りで手斧仕上になっていた。仕上面は魚のうろこようになっており、蛤刃の手斧仕上であることがわかる。この蛤刃の手斧は、民家では17世紀の中頃まで使われていたらしい。

「おもて」まわりでは内法が低く、長押は鴨居より上に高く打ちつけられているのも、近世の民家とはあきらかに異なっている。この長押材も柱と同様に蛤刃の手斧で仕上げられていた。囲炉裏の上にある提灯棚の後ろに当初からの長押があり、割取りの材を用いた四角い断面で、構造的な力強さは見ていて心地よい。大切に守られてきた数本の柱の表面にはいろいろなほぞ穴が遺されていて、柱間装置が何度も替わったことを示していた。

構造は「おだち」をたてる垂木構造で、柱上に折置きに3間の上屋梁がのり、前面は梁端がはねだし「せがい」風に出桁を受ける。濡縁から手の届くような所にこの出桁が見えた。巨大な茅葺屋根をしっかりと支える梁桁も、小さな手のように見えるからふしぎである。梁は比較的細い材が用いられている。「おだち」は地棟上に3本たち、この「おだち」で棟を支える小屋組の民家が、箱木家のような古民家に見られた。

箱木家の土間は、建物の半分以上を占める広いもので、さまざまな目的に使われた。通路としてばかりでなく、接客、家事作業、農作業に、また厩として用いられた。土間の奥には3つ口のカマドが設けられ、流し台が置かれ、炊事場や釜屋になっている。天井はなく、大戸口の右側に「うまや」が設けられた暮らしがあった。箱木家では、この部分を「にわ」と呼び、「うまや」の前を歩いて背戸口へ。下地窓のほの明かりが暗い空間に映えて心地よい。今頃は、壮大な茅葺屋根に荒星が冴える大地に、静寂な影をおとしていくにちがいない。

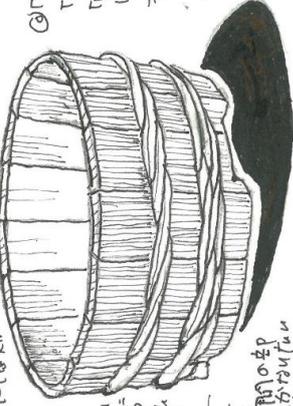
箱木家の主は面取角柱の礎石の上にある。外圍は工礎を礎石の間に柱は地留

神戸市北区山田町 箱木家採集

箱木千年家 スケッチ

2007.11.29

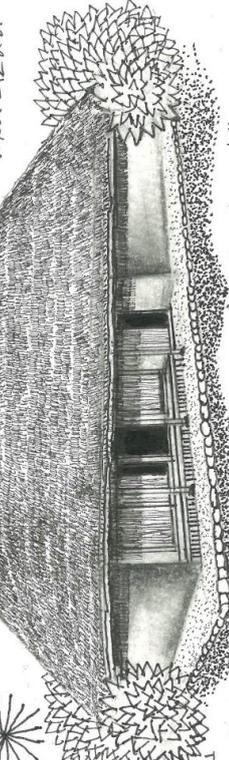
①「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」



②「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

③「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

④「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

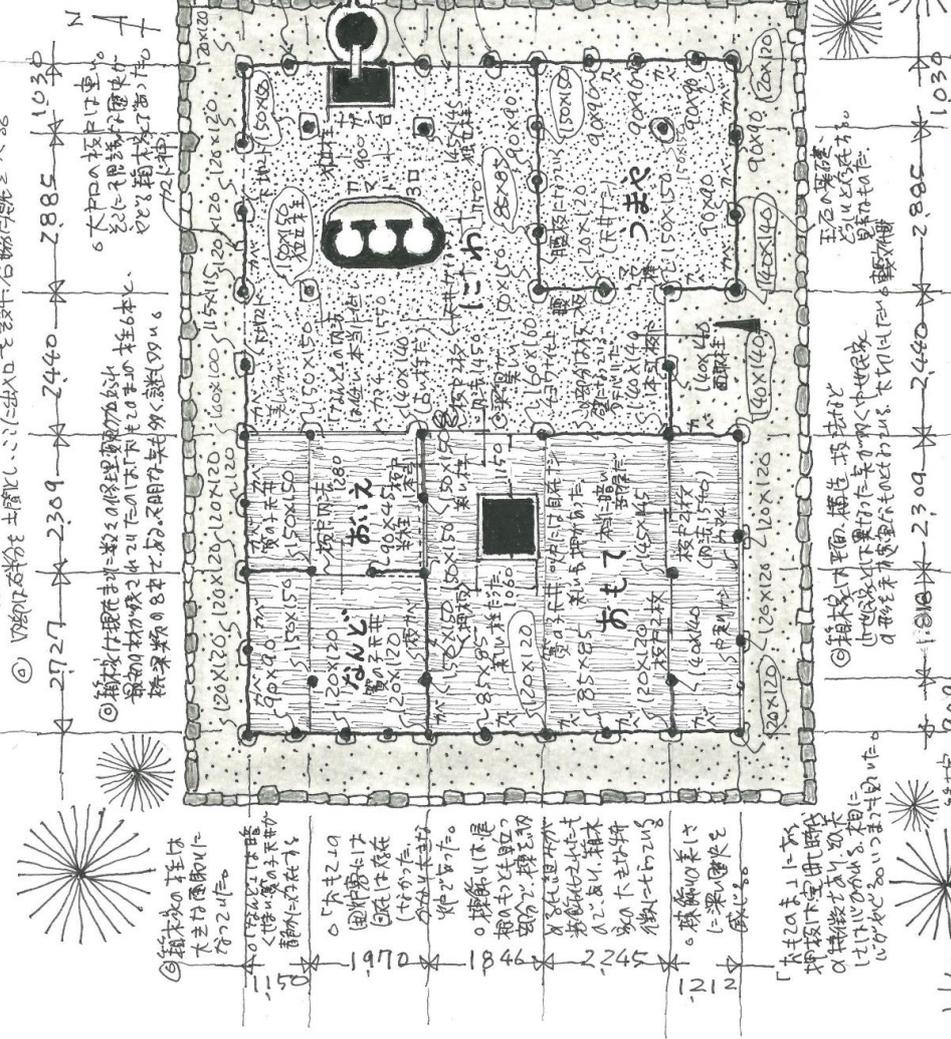


⑤「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑥「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑦「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑧「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」



氏家平面図 スケッチ

⑨「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑩「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑪「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」



⑫「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」

⑬「おまじ」
「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」
箱木の不思議な
「おまじ」・「おんじ」
「おまじ」は「おまじ」
「おんじ」は「おんじ」
昔は「おまじ」か「おんじ」



『近年の建築士学科試験問題』

紹介コーナー

堀口 智子 (夷隅)

下記は、令和6年一級建築士学科試験において出題された問題です。設問の記述が、**適当か不適當か**を考えてみましょう。

【問題】

インクルーシブ教育は、障害の有無にかかわらず学べる仕組みのことであり、カームダウンのためのデンやアルコーブを教室まわりに設けるなど、それぞれの状況に応じて環境を整える「合理的配慮」が必要となる。

近年の本試験では、社会福祉に関する用語が出題されています。これは、建築士にも社会福祉に関心を持ち、適正な計画・設計を行って欲しいという想いの表れでもあります。設問の「インクルーシブ教育」という用語は、誰もが安心して学べる環境をつくるという共生社会を目指した考え方です。これからの社会は、多様性や共生を受け入れる考え方が大切ということです。

【解説】

設問の記述は適当です。インクルーシブ教育は、障害や病気の有無、国籍や人種、宗教、性別といったさまざまな違いや課題を超えて、すべての子どもたちが共に学び、育つ機会を提供する教育のアプローチをいいます。

学校の環境を誰にとっても過ごしやすい場所、誰にとっても分かりやすいものにすることが重要です。多様な子どもたちが学校に通い、自分とは異なる個性や価値観を受け入れる心を育み、誰もが活躍できる共生社会をつくることは、誰もが幸せであることを目指した試みです。この様な教育アプローチが実現できるのは、日本の社会が成熟してきたともいえるのです。



あなたの「会社」や「仕事・活動」
をPRしてみませんか？

広報誌を今以上に会員の皆様に活用いただきたく、
こんな企画をスタートさせます！

題して、

「私の！うちの！事務所・作業場自慢」

広告宣伝費は無料です。(ただし、会員限定)

「私の事務所は、こんな工夫をして快適に仕事できる空間を作っています」「うちの作業所は、道具がたくさん揃っていてとても便利です」「所員でワイワイガヤガヤ楽しくやっています」など、何でも結構です。是非、自慢してください！

文章他、画像・動画・イラスト・漫画等、表現方法は問いません。奮って投稿お待ちしております。

書き方・作り方が解らない方は、広報委員会企画・取材班が全面サポートしますのでお気軽に、お問合せください。

ホームページアドレス

<http://chiba-kenchikushikai.com>

発行者：(一社)千葉県建築士会

編集者：広報委員会

〒260-0013 千葉市中央区中央 4-8-5 建築会館 4階

TEL 043-202-2100 FAX 043-202-2101

Mail : LEB02573@nifty.ne.jp

令和7年1月1日発行

I ♥ KK (Kenchikushi-Kai)

粕谷 修一 (安房)

『建築士 CHIBA』をお手に取られている方のほとんどが、千葉県建築士会の会員であることと思います。建築士会に入会した理由、会員であることを継続している理由は様々でしょう。

その中であって、建築士会が好きだから。建築士の事業が楽しいから。という方も当然？います。そんな方のお人柄に触れたく、広報委員会企画取材班は館山市にお住いの小滝聡美さん(安房支部)がお勤めになる有限会社早川建設さんのモデルハウスにお邪魔しました。



小滝聡美さんが役員をされている
有限会社早川建設さんのモデルハウス

小滝さんは宮崎県宮崎市で生まれ育ち、当初は宮崎県建築士会宮崎支部に入会されました。

「宮崎県で建築士会に入ったきっかけは？」

『資格を取った直後に当時の宮崎支部の支部長が来られて、女性委員会で活動してもらいたいと勧誘を受けました。お話を聞いているうちに、じゃあ入ってみるかという軽い気持ちで入会を決めました。』

「入会してどうでしたか？」

『凄く楽しくて遣り甲斐がありました。』

「楽しい？」

『皆さん向上心のある方々が集まっていて、建築に関することを、学び広めていこうとする活動をしていました。とても楽しかったです。社会貢献活動的な事業が多かったように思います。通りの美化活動で使われなくなった古い建物を塗装したり、観光地の看板を大工さんと一緒に作り直したりしました。県全体が地域に貢献しようという雰囲気が強かったように感じていました。参加することがとても楽しく、活動がとても有意義でした。』



宮崎支部の方々と再会

令和元年度
第 29 回
全国女性建築士
連絡協議会(東京)

小滝さん：後列
向かって右

「千葉県に引っ越しして来ることになって、宮崎県建築士会を退会することとなった心境は？」

『移住することは何の抵抗もありませんでしたが、退会することだけはとても残念で後ろ髪をひかれました。人生で一番と言えるほど辛いことでした。』

「引っ越ししてきて、宮崎県の県庁所在地と千葉県、それも先端部分の田舎で大きな違いはありましたか？特に文化的なこと。」

『あります!!お酒を飲む量が違います。宮崎、鹿児島の方は焼酎をメチャクチャ飲みます www。それと、こちらは男性が優しい。家庭でも職場でもお茶を入れる男性を見たことが無かった。あと一番吃驚したことは、お祭りが仕事を休む理由になることです。みんなお祭りに命賭けていますよね www』

「千葉県に引っ越ししてきてすぐ千葉県建築士会安房支部に入会されたのですか？」

『最初は入会せず CAD の仕事でも部分的にできれば良いなと考えていました。事実そのような仕事をしていましたが、こちらに来て 3 年経つ頃には、建築士会に関わっていきなという思いがつのり始め、しばらくモヤモヤ、ウズウズしていました。調べたらこの地域にも建築士会の支部があると分かり、自分から申し込みました。』

「当時のことを覚えています。自ら入会してきた奇特な方が、この世に存在することに強い衝撃を受けました。」

『一年間は頑張ってみようと思いい会しました。一年たってじっくり来なかったらやめても良いかなと思っていました🌸(笑)』

「線引きをクリヤーした事柄は？」

『本会の事業に参加した時、県の女性委員会の方を紹介され、女性委員会に誘われました。安房支部でも女性部を作って頂き、役員会に呼ばれるようになり自分の意見を聞いてもらえるようになったことでしょうか。県の女性委員会は活気があって、新たな企画がどんどん出てきて、刺激をいっぱい受けます。』

「千葉県建築士会に入会されてから、特に印象深い事業はありますか？」

『どれもこれも良い経験になったと思いますが……女性委員会で行った「逃げ地図作り」が特に印象に残っています。防災につながりますし、地域住民たちとの交流を通して、建築士として社会貢献ができています。気持ちにもなります。あと、この前開催した「親子でフォトコンテスト」は私が提案した企画でした。採用されてとても嬉しかったです。』



親子でフォトコンテスト開催時集合写真

「会に参加するにあたって、会社を経営している方や個人事業主は、責任を取る覚悟があれば時間を作ることができると思いますが、組織に所属している立場だと難しい面もあると思いますが？」

『うちの場合は、理解があるというか応援してもらっています。例えば、この前の安房支部で行った改正建築基準法に関する講習会で得た情報を基に社内での報告会を行いました。私が建築士会で得た知識や経験を社内にフィードバックすることを、会社側から期待されている面もあると思います。』

「今後の活動について思う処は？」

『今の県の女性委員会では既に実践していることですが、結果的に社会貢献につながることに関わってみたいと考えています。』

「多くの方に関わっていただきたいですよね？」

『建築士会の事業は、楽しくて、社会に対しても役に立つことがいっぱいあります。何より自分自身の為になります。目の前にある機会を逃してしまうのはもったいないと思います。』

「どうしたら関わっていただけるとお思いますか？」

『…やっぱり声掛けだと思います。支部でも県の女性委員会でも参加人数の問題は発生します。去年の安房支部の日本寺内覧会や、女性委員会の逃げ地図の時もそうでしたが、電話をして声掛けをしました。少なからず結果は出ます。継続して積み重ねていくことが大事だと思います。建築士会、楽しいから。参加すれば分かっていたらと思います。』



建築士会は楽しい

小滝さんは、聞くとところによると、全国規模の映画鑑賞サークルにも参加されているようで、前向きで、エネルギーが豊富な方でした。

会員減少や、参加率低下の歯止めに繋がるヒントがあるようなお話を伺うことができました。



有限会社早川建設さんの前で

左：小滝聡美さん 右：広報委員 粕谷

撮影：広報委員会副委員長 吉村ゆたか

地域情報誌「いすむすび」

日本地域コンテンツ大賞2024 アワード受賞

この度、「日本地域コンテンツ大賞2024」にて、夷隅支部 ISUMI エコミュージアム推進部会が発刊する『いすむすび』がアワードを受賞しました。

喜びの声を編集長でもある堀口さんに取材しました。



堀口智子 (ほりぐちともこ)

千葉県建築士会夷隅支部 ISUMI エコミュージアム推進部会部会長、いすむすび編集部編集長

仕事

- ・堀口一級建築士事務所
- ・さくら事務所 経営企画など

資格

- ・一級建築士
- ・ちばヘリテージマネージャー
- ・宅地建物取引士

そして、4月より女子大学院生



限研吾特別優秀賞受賞の堀口さん

聞き手 (Y) : この度、アワード受賞おめでとうございます。

吉村ゆたか (広報)

堀口 : ありがとうございます。こんな素晴らしい賞をいただけたこと、本当に嬉しく、これまで私達の活動に、応援やご協力いただいた皆さまに感謝でいっぱいです。

Y : どんな賞ですか。

堀口 : 10月28日、「日本地域コンテンツ大賞2024」において、夷隅支部 ISUMI エコミュージアム推進部会が発刊する『いすむすび』が、限研吾特別優秀賞を受賞しました！今年には534の媒体が参加し、その中から20編集部が選出されました



各アワード受賞者

Y : このアワードの主権者と目的など簡単にご説明していただけないでしょうか。

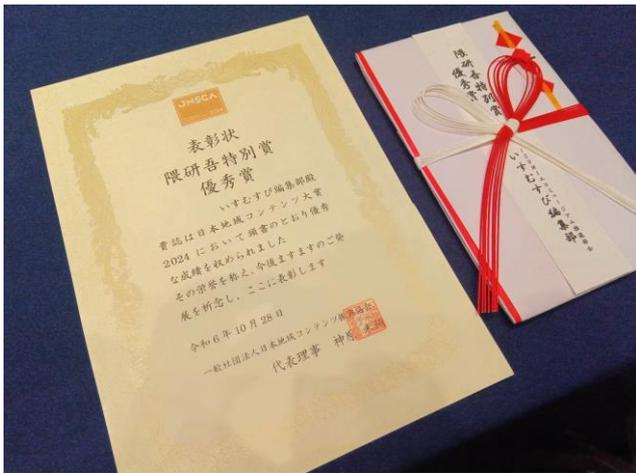


優秀賞授与式

堀口 : このアワードは、今年で14回目の開催となり、一般社団法人日本地域コンテンツ振興協会(理事長 神原未綺)が主催しているものです。地

域密着型メディア（有料誌、フリーペーパー、動画、Web サイト等）の活動や地域経済の活性化に貢献しているこれら媒体の存在価値を広く知らしめ、コンテンツの力で地域の魅力の再発見を通じた地方創生に貢献することを目的に開催されています。コンテンツ発信の専門家によって構成される審査委員が、厳正なる審査の上で受賞媒体を選定し、国内外で活躍する方々にプレゼンターとして受賞者を表彰するイベントです。また、主催協会の目的に賛同した内閣府ならびに外務省、経済産業省、農林水産省、観光庁、全国農業協同組合連合会、公益社団法人 日本観光振興協会が後援しています。

Y：受賞したきっかけは何だと思いますか。



賞状と賞金

堀口：この活動の原点は、夷隅地域に今も残る古民家の調査でした。ヘリテージマネージャー活動で古民家を調査するうちに、建てた人や、その人の商い、まちへの貢献、夷隅地域との繋がりが見えてきました。そして、そこには先人たちの努力の蓄積の痕跡が見えたのです。この情報は、私たちの中でしまい込むのではなく、現代の地域の方々に共有した方が良いでしょう、ということでフリーペーパーの発刊につながりました。現在、地域で継承されてきた有形、無形のものが消えていっています。これは時代の変化とともに仕方がないことです。しかし、現在や未来を考える上で、そういった過去を参照することはとても大切なことだと感じています。変化しながらも継承されてきているものを記録に残し、地域に共

有したい。今回は、そういった私達の想いを審査員の方々がくみ取ってくれて、評価をいただいたのだと思います。

Y：地域情報誌「いすむすび」について教えてください。

堀口：発刊は、平成31年1月に夷隅支部内に設立をした『ISUMI エコミュージアム推進部会』の活動の1つとして取り組んでいるものです。主に、私と荘司美智子さんとで、地域の協力メンバーを募って活動しています。



「いすむすび」編集部メンバー

Y：何か皆さんに伝えたいことはありますか。

堀口：「いすむすび」の取材や記事の執筆は完全ボランティアですが、印刷費は、千葉県地域貢献活動センター地域貢献活動基金助成金と夷隅支部の皆さんから支援いただいています。そして、この活動は、地域の方々の協力なくしては出来ません。今回の受賞は、千葉県建築士会と地域の方々みんなで受賞したのだと感じています。

これからも、この受賞を励みに、活動を楽しみながら頑張っていきたいと考えています。引き続き、応援のほど、よろしくお願い致します！

聞き手 (Y)：今日はどうもありがとうございました。下記のQRコードから「いすむすび」の紹介動画をご覧ください。



一級建築士製図試験施設見学会を開催

荒井 基樹（君津）

1. 製図課題発表から見学施設が決まるまで

令和6年7月26日金曜日、一級建築士学科試験の2日前に製図試験の課題が発表されました。

令和6年一級建築士試験「設計製図の試験」の課題

課題名

大学

要求図書

- 1階平面図・配置図（縮尺1/200）
- 各階平面図（縮尺1/200）

※各階平面図については、試験問題中に示す設計条件等において指定する。

- 断面図（縮尺1/200）
- 面積表
- 計画の要点等

建築物の計画に当たっての留意事項

- 敷地の周辺環境に配慮して計画する。
- バリアフリー、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減、セキュリティ等に配慮して計画する。
- 各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- 大地震等の自然災害が発生した際に、建築物の機能が維持できる構造計画とする。
- 建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
- 構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
- 空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

公益財団法人建築技術教育普及センターHPより

今年の課題はこれまで出題されたことのない学校建築のうち、小学校や中学高校を飛び越して「大学」という出題です。

千葉県建築士会の啓蒙活動及び将来の新入会員獲得のため、青年委員会では例年の開催に引き続き、受験者に向けて施設見学会を開催することに決めました。

しかし、近年の一級建築士試験の傾向の通りに課題に対する情報は無く、当日の問題を見るまでは分かりません。青年委員会でも臨時会議を重ね、見学する施設候補を検討しましたが、一向に決まりませんでした。県内にキャンパスを構える大学は国公立私立大学含め41校ありますが、多くは郊外型のキャンパスであり、どの大学が製図課題の類似施設として見学するに相応しいか、会議をしても決ま

らず時間ばかり過ぎてしまいました。

製図試験の6時間半という試験時間を考えた場合、エスキスや要点の記述の時間を除くと実際に製図する時間は3~4時間しかありません。その時間内に描けるボリュームから逆算し、都心型のビルキャンパス、もしくは単科大学、郊外型の総合大学のうち敷地分割して学科を指定するパターンと考え、候補施設を数校に絞り見学会のアポイントを取る事になりました。この時点ですでに8月上旬です。お盆前には見学施設が決まらなないと参加募集もかけられませんし、8月中の見学会開催より遅れてしまうと受験生に迷惑がかかってしまい参加者も見込めません。

限られた時間の中で青年委員会の力を結集し、最終的には千葉大学墨田サテライトキャンパスを今

年の製図試験の課題に合致している視察候補として決めました。私が千葉大学工学部で建築設計の授業の非常勤講師を務めておりますので、墨田キャンパスの事務担当に連絡を取り、「荒井先生が施設の説明をしてくださるなら開催可能です。」と言っていただき、8月23日金曜日に何とか見学会の開催ができる事になりました。

2.千葉大学墨田サテライトキャンパスの紹介

2017年3月に墨田区と千葉大学が包括的連携協定の締結をし、東京23区で唯一大学が無い墨田区に大学を誘致するプロジェクトがスタートしました。そして協定締結から4年を経て、令和3年4月1日に、墨田区文花一丁目に千葉大学墨田サテライトキャンパスが開設しました。このキャンパスは、墨田区が旧すみだ中小企業センターの大規模改修工事を行い、その施設を千葉大学が賃借する形で開設されたものです。



写真1) 千葉大学墨田サテライトキャンパス
(墨田区HPより)

設計は久米設計が担当し、施設規模は地下1階地上5階建て、延べ床面積9,448㎡です。第23回JIA環境建築賞優秀賞や2023年グッドデザイン賞を受賞しています。

千葉大学墨田サテライトキャンパスは、建物全体を実証実験空間と捉え、「生活の全てをシュミレートする」というコンセプトのもとに運営されています。また、総合的教育・研究拠点「デザイン・リサーチ・インスティテュート(略称:dri)」として、建築・デザインだけでなく、イメージング・ランドスケープ(園芸学)・予防医学などの分野も加え、

工学から全学へと教育・研究を拡張していく方針としています。

施設の1階から2階は地域に開放するエリアと位置づけ、地域の方々が気軽に立ち寄ることができ、また学生の作品展示などもあり、大学の取り組みを身近に感じることのできる環境を構築しています。

3.施設見学会当日

大学の運営上平日の見学会開催となり、参加者が少ないのではないかと懸念しておりましたが、31名の受験者(将来の会員)が参加しました。



写真2) 製図課題・見学施設説明の様子

当日は施設4階のイノベーションアトリエに集合し、15時より見学会を開始しました。初めに青年委員会副委員長の小暮氏より見学の注意事項及び見学のポイントの説明があり、そのあと私から今年度の製図課題の展望と施設について説明をしました。写真2の通り参加者の皆さんは真剣な眼差しで施設の図面を眺め、説明を聞いていました。

施設説明の後、実際に屋上から順番に各フロアを見学しました。



写真3) 施設見学中の様子

見学中にも青年委員会のスタッフへの質問が飛び交い、非常に活気のある見学会となりました。特に普段入る事の出来ない設備系の部屋に入ると、製図予備校等の指示で今まで何となく描いていた部屋や設備が実際に見ることで理解を深めているように感じました。

施設見学の後には再び小暮氏より製図試験攻略のポイントの説明と、青年委員長の家本氏より建築士会の活動についての説明および将来の勧誘を行いました。青年委員会主催の施設見学会の開催で建築士会を知ってもらおう非常に良い機会になったと思います。



写真 4) 質疑応答の様子

15時から始まった見学会と説明は予定の16時半までじっくり行い終了しましたが、その後は参加者からの課題に対する質疑や相談の嵐。スタッフ総出で質疑の対応をしました。さすがは建築士の先輩たち、施設をお借りしている17時までの時間いっぱい受験者の疑問点や試験に対する悩みを解決していました。

4. 令和6年一級建築士製図試験の概要と考察

製図課題発表では「大学」という施設用途のほか、要求図書は1階平面図・配置図、各階平面図（※階数は問題中で指定）、断面図、面積表、計画の要点等となっております。近年の傾向の通り、受験者に一的を絞らせない自由度の高い課題と感じました。そのほか、計画に当たっての留意事項に今年度は「大地震等の自然災害が発生した際に、建築物の機能が維持できる構造計画とする。」と明記され、免震構造の課題になるのではと予想していました。

私は試験監督(補助)をしていたわけではないので、後日、試験内容について調べてみると、試験当

日の課題は駅前に立地する大学(サテライト的な大学)の建築学科棟の計画で、まさに見学した施設のような内容でした。

上記※印で階数は問題中で指定と発表されていましたが、蓋を開けてみると階数は自由設定となっていました。これが受験者を悩ませる事になったようで、5階建てまでが作図する上で適正な規模でしたが、6階や7階となると断面図が解答用紙に納まらないという事態に陥ったようです。(要領のいい受験生は描く時間を考え5階までに留めるか、途中階を省略して記載すると思いますが...)

また、予想の通り基礎免震構造とする課題だったのですが、車椅子駐車場の配置やヘリアキを間違えると免震 Exp.j の600mmの可動域が車にぶつかるというミスも誘発もありました。

その他にも300席の段床形式の大講堂など注意すべき点は多々ありましたが長くなるので割愛します。

近年の製図課題は発表時には受験者に一的を絞らせず、構造・法規・設備など学科試験の内容を網羅した上で幅広い知識が求められるものとなっています。建築士会の諸先輩方が合格された時と比べると難易度も上昇していますので、もし皆様の会社の後輩が一級建築士試験を受けるのであれば、「製図なんて...」や「俺の時はな...」などと言わずに、対策を一緒に考えてあげて、建築士会の先輩はすごいところを見せてあげてほしいです。

5. まとめ

今年度は千葉大学墨田サテライトキャンパスで施設見学会を行いました。上記の考察の通り、建築学科棟の製図課題でしたので見学施設と合致した内容でした。青年委員会のメンバーで課題発表から見学会開催まで1カ月間、必死に話し合い、準備した成果が実ったように感じてほっとしました。また、見学会の参加者には有利に働いたと感じていますし、合格した暁には建築士会に入会することを願っています。

来年度も受験者のため(新入会員のため)青年委員会メンバーで話し合い一級建築士製図試験課題に合致した施設見学会を開催したいと思います。



『全国大会 in 鹿児島県』（胃もたれ珍道中）

大和久 一吉（長生）

「九州新幹線に乗りたい」というのが参加理由の一つ。とはいえ朝一番出発でも茂原からでは大会式典に間に合わないため新大阪に前泊。その晩、黒豚や焼酎など鹿児島の食文化を思い浮かべつつ焼きそばとお好み焼きを1人前ずつ食べ、その後顔なじみのスナックに立ち寄るとなんとカレーのおもてなしが...唸りながらも完食。

翌日（10月25日）11:11鹿児島中央駅到着。会場の『宝山ホール』まで約2kmの道程は路面電車利用。一律170円は何ともありがたいが、健脚ならば歩いた方が早かったかもしれない。

会場に到着するとエントランス前での剣術演武のお出迎え。会場西側の大通り越しには西郷隆盛銅像が立ち、近隣には鹿児島城御楼門など旧跡も佇み、かつての薩摩繁栄を漂わせる。

会場館内を一見後、屋外の特産品販売ブース、西郷隆盛銅像見学、会場前の鹿児島市中央公園のフードコートへと足を運ぶ。前夜の暴食でまだ胃もたれが残っているというのに名産物の誘惑に負け、軽羹・黒豚の照り焼き・たこ焼きを食べる。直後習志野支部の一行と遭遇し、鹿児島で有名な『天文館通り商店街』を見学。そこでもまた豪勢なカキ氷を食べることに…

やや胃の不快感を覚える中大会式典に出席。オープニングはお二方（男1・女1）の奄美ルーツ唄者による奄美諸島独自の民謡「奄美の島唄」演奏。三味線の弾き語り、男性が発する高音域の裏声は実に艶やかで特に印象深い。一連のプログラムを終え最後は次年度開催大阪大会のPR。万博との兼ね合いもあり9月開催予定。個人的理由で大阪には毎年訪れているだけに気分は既に大阪。

いよいよお待ちかねの鹿児島の夜。黒豚とんかつ店を目当てに歩いていると、気になる黒豚餃子の看板を目にするが、とにかくとんかつ店に入店し本場の味に舌鼓。前夜から食べ過ぎの影響もありかなり満腹ながら、折角来たのだからと前述の餃子店に立ち寄る。一口で絶品と覚るもミニ餃子とはいえ一人前20個は流石に堪える。やや足が重いホテルへの帰路。通りに見える駅隣接施設屋上の大観覧車の電飾に心も胃袋も？和らぐ。

翌26日からは『桜島から大隅半島縦断 温故知新の旅』という1泊2日のエクスカッションに参加。初日見学場所は①湯の平展望台、②鹿屋航空基

地資料館・物産館、③内之浦宇宙空間観測所、2日目は④吾平（あいら）山上陵、⑤かのやばら園。参加者は千葉1名、神奈川2名、大阪3名、宮城1名、鹿児島6名、計13名。夜の懇親会は約30名。

駅からバスで約15分フェリー乗り場に到着。桜島は南岳や北岳（御岳）などの連峰からなり、当日南岳は噴煙が沸き上がりフェリーからの眺めは壮観。活動休止の北岳中腹にある①からは鹿児島市街地や鹿児島湾を一望。②では鹿屋（かのや）の地が戦時中特攻隊の拠点で、多くの若者が命を落としたことを知る。次の昼食ではまさかの驚きメニュー！1人前180～200g位あろうかという霜降り牛のすき焼きで、あまりの美味しさに胃もたれなどすっかり忘れ完食。③は観測ロケット実験や人工衛星を打ち上げ、宇宙空間のデータ取得などを行う施設で、世界の宇宙科学研究に多大な貢献をしていると聞く。直径34mと20mの巨大パラボラアンテナと発射台は大迫力。宿泊地は太平温泉。懇親会では、バス内でほぼガイドと化した鹿児島建築士会の上之段氏のバンド演奏とプロマジシャンの演技。目の前のパフォーマンスには本当に仰天！

③では日本神話諸信・天皇家の系譜説明や宮崎県との確執の歴史などを聞く。陵内散策時「伊勢神宮と様式が似ているのでは」との言葉に、実はこちらが先という話も面白い。④ばら園としては8haと日本最大の広さを誇る。見学時間が少なく時期外れで開花しているものは少なかったのが一寸心残り。

昼食はまたしても刺身付きとんかつ定食を選択。バス内では個々の自己紹介も行われ、前述上之段氏の自己紹介で、昭和62年一級建築士試験が小生と同期であることが分かり更に意気投合。帰りのフェリー内で、よせばいいのに名物とばかりにまたしてもうどんを頂く。鹿児島の良き食文化に翻弄されると同時に見事な景観も堪能した3日間。鹿児島県建築士会のご尽力に感謝申し上げます。



※この記事の写真是 →
こちらからご覧ください

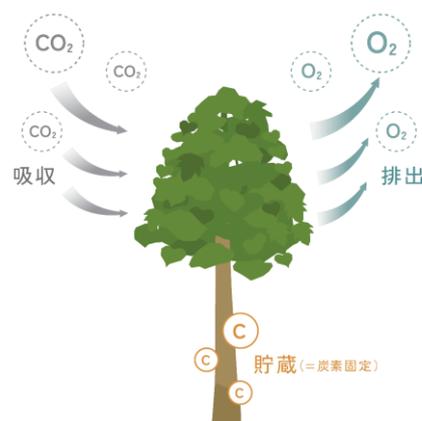


成田国際空港(株)・(株)ナリコー早生桐共同事業

百瀬 登展 (行政 OB)

千葉県建築士会賛助会員の成田国際空港株式会社(以下「NAA」という)と、同じく賛助会員の株式会社ナリコー(以下「ナリコー」という)は共同で「早生桐を活用した CO₂ 排出量削減実証事業」を 2022 年 11 月に成田市十倉三で開始しました。

2022 年 11 月 28 日のナリコー早生桐の苗植付けセレモニーに千葉県建築士会広報委員会は、他の新聞社等と共に取材に伺い、「建築士 CHIBA」2023 年 1 月号に記事を掲載しました。



樹木の光合成による CO₂ 吸収・炭素(C)固定 事業の目的と事業推進スキーム

目的は早生桐を活用した CO₂ 排出量削減の実証です。成田国際空港近傍の 1,700 m²の土地に早生桐 80 本を植えて、成長に伴って吸収する CO₂ の環境価値化及び成木の販売による収益化により、持続可能な施策とすることを目指して実証を行うもので国内空港初の取り組みです。

NAA とナリコーの役割分担は次のとおりです。

- | | |
|-------------------------------|------|
| ・用地の無償提供 | NAA |
| ・早生桐の植付け、育成、伐採 | ナリコー |
| ・伐採木或いは加工品の販売収益 | ナリコー |
| ・この間の CO ₂ 削減評価の帰属 | NAA |



早生桐の苗 2022 年 11 月 28 日植付け時

あれから 2 年経過し、事業はどのように進んでいるのか取材しました。ナリコー社員である私(百瀬)は 2023 年 4 月から千葉県建築士会の広報委員となり、「建築士 CHIBA」に時々様々な記事を書かせてもらっています。従って今回は、取材と言うよりはこの事業を進めている当事者の立場で事業の進捗状況の報告をさせていただきます。

早生桐とは

早生樹(早く成長する樹種)の一種で、5~6年で成木になります。1本当たり1年当たりの CO₂ 吸収能力(光合成による)が従来の杉・桧の数倍から十数倍あります。地球温暖化防止への貢献度は大きいと言えます。

建材としての性能は従来の日本の桐と同等です。軽さ、防虫性能、調湿性能、断熱性能に優れています。ただし、強度は杉の 6~7 割です。

事業は成蹊大学と産学連携で進めています。



左：NAA 宮本取締役(当時) 右：ナリコー加瀬代表取締役

この 2 年間の地球温暖化の進捗

一昨年、昨年夏の暑さは異常でした。事業開始から 2 年ですが、世界中の人が、この 2 年間で地球温暖化を実感したのではないのでしょうか。地球温暖化防止、CO₂ 排出量削減は益々人類の大き

な課題となってきました。急がねばなりません。

NAA とナリコーの環境に対する取組

（脱炭素化推進計画策定）

NAA もナリコーもこの 2 年の間に環境に関する計画を改定・或いは新たに策定し公表しました。

NAA は「成田国際空港脱炭素化推進計画」を策定し、2023 年 12 月 1 日に、空港法に基づき、国土交通大臣の認定を受けました。温室効果ガスの削減目標は、2030 年度目標が 2013 年度比 46.8% 削減、2050 年目標がカーボンニュートラルです。

ナリコーは 2023 年 12 月 2 日に「ナリコーグループ環境計画」を策定・公表しました。CO₂ 排出量の削減目標は、2030 年度目標が 2020 年度比 40%削減、2050 年目標がカーボンニュートラルです。

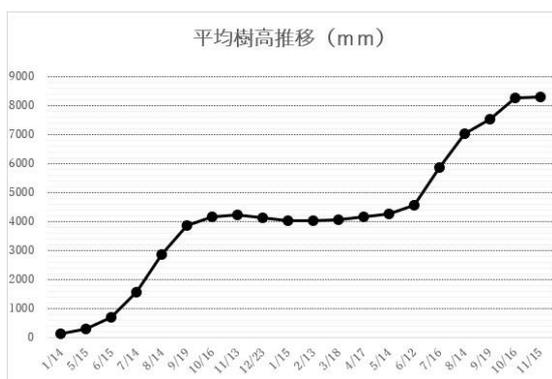
どちらの計画にも早生桐にかかる事業は、推し進めるべき事業として記載されています。

早生桐は順調に成長

早生桐は順調に成長しています。

2024 年 11 月（植付け 2 年後）測定で、平均樹高が 8.30m、直径が 11.5cm にもなりました。1 年後の 2023 年 11 月測定では、平均樹高が 4.25m、直径が 5.6cm でした。2 年間でこの成長は他の一般的な樹木に比べて驚異的なスピードです。

二社共同事業第 2 弾として、同様の実証事業を富里市七栄で 2023 年 10 月に 260 本植付けしてスタートしました。こちらも順調に成長しています。



成田市十余三圃場の成長の記録・樹高



2024 年 11 月の状況（平均樹高 8.5m 超）

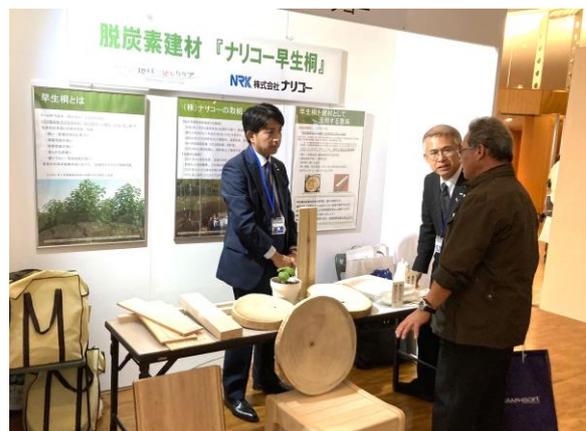
CO₂ 吸収量計算

1 年目の 2023 年 11 月時点での CO₂ 吸収量の計算をしました。樹木に蓄積された炭素 (C) の重量が分かれば、その数値に 44 (CO₂ の分子量) /12 (C の分子量) を掛けると、吸収した CO₂ の吸収量が計算できます。樹木に蓄積された炭素の重量はナリコーの先行研究の成果から推測しました。

その結果、1 本当たり 1 年当たりの CO₂ 吸収重量は 11.4kg となりました。圃場全体（1 本枯れて 79 本）では 901kg となります。この数値 901kg は燃費 15km/l の車両が 5,775km 走った時に排出する CO₂ の重量程度です。2 年目の数値はただ今計算中です。加速度的に成長しているの、1 年目より相当大きな数値になると見込めます。

今後の課題

当初目的の後段、持続可能な施策に向けて、活用方法・収益性の明確化が現時点の課題です。



2023 年建築士会全国大会静岡大会でアピール

～弁護士アジローがゆく～#17

「株式会社チーかわ!?!の巻」

網代 真治 (市川・浦安)

皆さん、明けましておめでとうございます。市川・浦安支部の網代（あじろ）です。普段は弁護士をしています。対話劇で建築と法律に関する記事を連載させていただいております。

今回は第17回目。弁護士アジロー（A）が顧問先の建設会社の社長（B）と小料理屋で会食をしているところから始まります。今回の登場人物は以下のとおりです。

A：弁護士アジロー。草むしりや訴訟などをして生活している。

B：アジローの顧問先の建設会社の社長。関西弁を操る。若手経営者に対する面倒見がいい。

C：青年実業家。チーズ牛丼専門店「株式会社チーかわ」を経営する。ちょっぴり泣き虫。



A「B社長、明けましておめでとうございます。今年も何卒よろしく願いいたします。」

B「がはは、こちらこそよろしゅうな！ほな、まずは一献……。」

(AとB、互いに盃に日本酒を注ぎグッと飲み干す。)

B「ふはあ～。今年も酒が旨くて何よりや。それはそうと、今日はA先生に会わせたい人間がおるんや。女将！彼を連れてきて。」

(Bが手を叩くと、女将が戸を開く。傍らには30歳前後の男性（C）が跪いていた。)

C「お初にお目にかかります。Cと申します。」

B「C君はな、ワイと同じ大学出身の経営者でな。なにかと目をかけておるんや。」

A「そうなんですか。はじめまして、弁護士のアジローと申します。Cさんはどのような企業を経営されているのですか？」

C「はい、僕、チーズ牛丼専門店の株式会社チーかわという会社を経営しております……。」

A「いやちょっと待って!?!ダメだろ、その社名！絶対にあの人気キャラクターだよね!?!」

C「はい？ちょっと何を言っているのかわからないのですが……。」

A「シラを切るな!?!……しかし、なぜチーズ牛丼専門店を起業しよう?」

C「はい。僕の会社、正確には、『株式会社チーかわ～なんかチーズ牛丼食ってそうなかawaiiそうなやつ～』と言いまして……。」

A「やっぱりあの作品じゃないか！ってというか、お客さんをかawaiiそうなやつ呼ばわりしたらダメだろうが!!」

C「先生、ツッコミ忙しそうですね。」

A「やかましいわ!」

B「まあまあ、先生、落ち着きなはれや。で、C君も起業してみるとやな、いろんな法的問題に直面してどうすればええのか困ってるらしいんや。」

C「なにぶん、従業員が数名程度の会社で、法務部などもありませんから、何が適法で何が違法なのかも手探り状態なんです。」

A「その尖った社名でコンプライアンス意識はしっかりしているのか……。」

C「先生、法的問題とどう付き合っていけばいいかアドバイスをくれませんか。」

A「……わかりました。まず、会社を経営されている以上、日々の業務の中で発生する法的問題から逃げるできないのは間違いないと思います。」

B「ワイも身に覚えがあるわ～。元請業者が請負代金を払ってくれなかつたり、工事の仕上がりで施主と揉めたり、従業員が休職したいと言い出したり……。なんべん地獄を見たかわからへんで。」

C「わア……あ……。」

B「泣いちゃった!!!」

A「……B社長のおっしゃるとおり、経営者の方はそのような法的問題が発生する危険性(リーガル・リスク)に常に晒されています。ただ、どのような法的問題がどの程度発生する危険性があるのか、危

険が現実化したときどのような対応をすれば被害を最小限に抑えられるのか、こうしたことを日頃から意識しているだけで安心の程度はかなり変わってくると思います。」

B「備えあれば憂いなしっっちゃうことかいな。」

C「フ！」

A「また、リーガル・リスクを適切に評価することができれば、どこまでが許容できるリスクなのかを見据えて、経営者としての意思決定をすることができます。法的問題による損失を減らすことはもちろん、リスクを踏まえて利益を追及するという経営判断をすることも可能になるでしょう。」

C「エト・・・？」

B「先生、具体的にはどういうことやねん。」

A「例えば、新しい取引先と契約を締結する場合、契約書の各条項をどのような記載にするかといったことが問題になります。このとき、『損害賠償額の予定』条項とって、契約違反により損害賠償をしなければならなくなったとき、賠償の上限額を定めることがあります。この条項を相手方が外してくれと言ってきたらどうでしょうか。」

B「普通は嫌やろうな。無限の賠償責任になってまうやんけ。」

A「形式的に考えればそのとおりです。しかしながら、取引の規模や種類、考えられる契約違反の内容、頻度、損害の大きさなどを考えれば、相手方の要求を呑んでも契約を締結した方が会社にとって利益になることもあるのではないのでしょうか。」

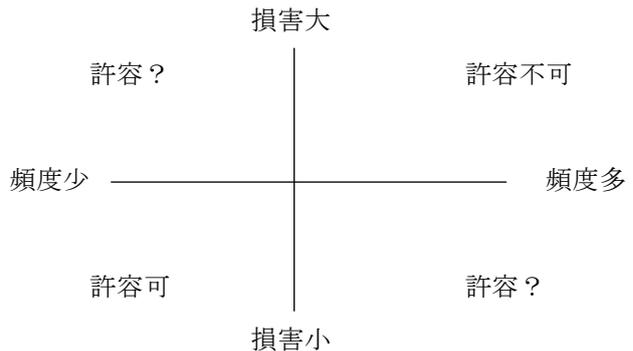
B「まあそういうこともあるやろうな。というか、大手から仕事をもらうときは、相手の言いなりになってしまうのが実情やねん。」

C「わア・・・。」

A「逆に言えば、大手からの受注案件であったとしても、どうしても譲ってはならない致命的な条項というものありうるでしょうね。」

B「見極めが重要な。なんかええ方法ないんか？」

A「私はリーガル・リスクを評価するとき、下の表を使っています。X軸に法的問題が実際に生じる頻度を取り、Y軸に法的問題が生じたときの損害の大きさを取っています。この掛け合わせによってリーガル・リスクの重大性を評価します。」



B「なるほどな。損害が大きくて発生の頻度も多いもの（図の右上）は絶対に許容できないし、損害が小さくて発生の頻度も少ないもの（図の左下）はさほど神経質になる必要はないわけやな。」

A「一方で、頻度は少ないが損害は大きいもの（図の左上）、頻度は多いが損害は少ないもの（図の右下）について許容するか否かは各経営者の判断によるでしょう。」

B「取引先、顧客、社内、行政、いずれの場面の決断であっても、十分な情報に基づいてすべきやな。」

A「私は、法務とは経営の単なるブレーキであってはならないと考えています。損失を減少させ利益を追求するのに資する法務、『攻めた法務』こそこれから必要になってくると思うのです！」

B「なんや今日の先生、ボケ要素が少ないなあ。まあ、ええか。よっしゃ、C君、今日聞いた内容を活かして明日から頑張ってください！」

C「エイオー！ンショ！！！」



C君、途中からどうしちゃったんでしょうか。なお、弁護士アジローは創作上の人物であり、架空の弁護士です。

Ende



中小企業診断士カッシーに聞け！ ～見積書の利益基準を探る～

柏村 斉（市川・浦安）

設計を行っている建築士さんも、工事を行っている建築士さんも契約前にお客様に見積書を提出していただきますよね。

見積金額は、お客様の予算に応じて最終的に決まることはあると思いますが、一般的には、原価（設計であれば建築士の人件費や諸経費、工事であれば外注費や材料費や労務費や諸経費）に対して、利益を計上して見積金額にしていると思います。

ここで質問です。

皆さんが作成した見積は、自社の年間目標達成に必要な利益を確保できる金額になっていると自信を持って言えますか？

見積金額は、顧客の予算や競合との相対的な関係で決まることもありますが、自社で最低限これだけは確保しなければいけないという“基準”があると便利だと思いませんか？

最低限これだけは確保しなければいけないという“基準”があると、

- ・ 顧客からの言い値であっても、受注してよいか判断できる
- ・ 感覚で見積もっていたから、年間を通して必要な利益が確保できなかったということを防ぐことができる

というメリットがあります。そんな便利な“根拠のある工事利益の基準”について、紹介します。

前回からの続きになっていますので、もし今回号を読んでいく中で疑問点があれば、12月号もご覧ください。

売上高 10000	変動費 3000		外注費	工事原価
			材料費	
			その他経費	
	限界利益 7000	固定費 6000	労務費 2500	工事利益 4000
			現場固定費 500	
			人件費 1000	
			その他固定費 2000	
利益 1000				
限界利益率				

図1 サンプル会社の今期の目標

クイズで理解

“根拠のある工事利益の基準”の算定方法を理解するためには、具体例の方が理解しやすいため、クイズ形式で説明します。

図1のような売上・利益目標を設定している会社が工事案件の引き合いに対して、図2の工事原価を想定している場合、必要利益は最低限いくら必要でしょうか？

まず、会社の目標を見てみます。

売上高の目標が10000、変動費が3000、限界利益7000です。固定費が6000、うち労務費2500、現場固定費500、人件費（＝これは現場に出ている人以外の人件費です）が1000、その他固定費が2000で、利益1000を目標としています。

この目標下で、工事の案件の引き合いがあったため、工事原価を算定したところ、次のような原価が予想されました。

外注費100、材料費100、その他経費50、労務費100で予定工事原価の合計が350です。

工事利益をいくら計上して見積金額は最低限いくらとしたらよいでしょうか？

1件の工事見積

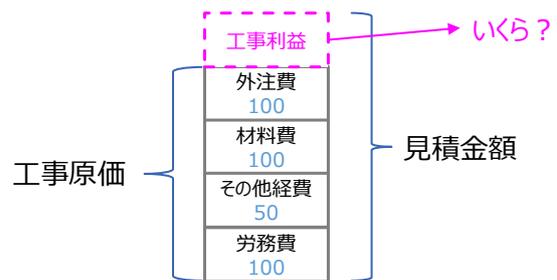


図2 この工事の最低工事利益はいくら？

クイズの正解

この会社の場合、図3の上の図に示すとおり、労務費2500で、工事利益4000を稼がなければなりません。なぜならば、マンパワーは限られているため、限られた労務費（マンパワー）で、利益を確保する必要がありますからです。

ということは、この会社の場合、労務費1で工事利益1.6（＝4000÷2500）を稼ぐ必要があります（図3

参照)。

例えば、労務費 1 で工事利益 1 しか計上しない工事の場合には、労務費をすべて工事に使ったとしても、工事利益が 2500 しか稼げないからです。

このような工事を受注してしまうと、他の工事でもっとよい工事利益を稼がない限り、目標とする利益に到達することはできなくなってしまいます。

ということは、このクイズであれば、労務費 100 の工事なので、利益 160 (労務費 100×1.6) を稼がなければならないことがわかります。

ちなみに、見積合計は、工事原価の合計が 350 ですので、利益 160 を計上して、510 となります。

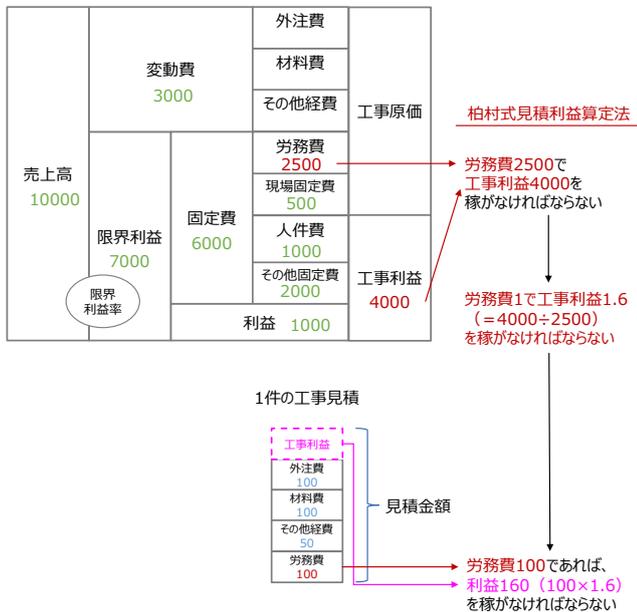


図3 最低限確保しなければならない工事利益

利益基準の算定方法

以上のクイズから、最低限必要となる工事利益は、労務費と目標工事利益から決まってくるということがわかります。

これを体系的に整理すると、見積書の利益基準は、次の5ステップで算定することができます。

Step1.年間の会社全体の労務費を算定する

→今回は 2500 でした

Step2.年間の会社全体の目標工事利益を算定する

→今回は 4000 でした

Step3.年間の目標利益 (Step2 で算定) ÷年間の労務費 (Step1 で算定) を算定する

→今回は 1.6 でした

Step4.工事単独の労務費を算定する

→今回は 100 でした

Step5.Step4 で算定した労務費に Step3 で算定した比率を乗じて、最低限必要な利益を算定する。

→今回は 160 でした

このうち、Step1~3 までは年度当初に一度決めてしまえば確定です。

工事もしくは設計の見積を行う際には、Step4 と Step5 を行うだけで算定することができます。

ちなみに、この考え方は、考案者の名前から「柏村式見積利益算定法」と呼んでいます (笑)。

見積の手順

見積を行う際には、最初から顧客の要求金額だけで決定しないでください。

私は、次のステップで見積することを推奨しています (私自身もこの方法で算定しています)。

① 正直ベースで必要な見積を行う

まず、この記事で紹介した方法を用いて、本来もらいたい金額を算定します。

② 顧客の要求金額と競合の状況で調整する

調整する際には、仕様を変えて関与する時間を減らすなど、労務費と工事利益のバランスがとれるように調整します。それで受注できないのであれば、受注すべきではない工事や設計です。

値決めは経営である

「値決めは経営である」と言ったのは、“経営の神様”と呼ばれる稲盛和夫氏です。値決めは、経営の死命を制するとも言っており、非常に重要です。

また、ぜひ適正価格で受注してください。建設業界全体が適正価格で受注すれば業界全体が元気になります。

まとめ

今回は、工事や設計で、最低限これだけは確保しなければいけない“利益の基準”の算定方法を紹介しました。

設計士さんの場合には、今回紹介した方法の他に、より簡易的に算定する方法もありますので、次号で紹介いたします。



基準法であそぼ！ 「空中のマラソンコース？」

田中 知代 (夷隅)

みなさん、こんにちは。夷隅支部の田中です。

先日、幕張メッセのイベントに行ってきました。最寄りの海浜幕張駅から、ペDESTリアンデッキを通り、地上を歩かずに移動。車やバスの交通と分離され安全で、木々や噴水、彫刻などが配置され、都会的な景観の中にもリラックスできる雰囲気が感じられる道のりでした。

幕張メッセの前にも、楨文彦氏設計の美しいペDESTリアンデッキがあり展示場間を、道路を渡らずに行き来ができます。デッキから見る車の流れや景色も、また一興ですね。



幕張メッセ (共立工業(株)HP より)

ペDESTリアンデッキは、建築基準法上、公共用歩廊、その他令 145 条 2 項で定める渡り廊下（上空歩廊）として扱います。

建築基準法 44 条 1 項では、原則として道路内に建築物を設けることを禁止しています。しかし、法 44 条 1 項 4 号において、特定行政庁の許可を受けた場合には、ペDESTリアンデッキなどの公益上必要な建築物の設置が認められています。この許可を得るためには、安全上、防火上、衛生上、他の建築物の利便を妨げないこと、その他周囲の環境を害するおそれがないことが条件となります。

また、令 145 条 2 項では、公共用歩廊、渡り廊下（上空歩廊）などは、主要構造部が耐火構造や不燃

材料で造られている建築物に設けられるもの、かつ下記のいずれかに該当するものであることが定められています。

- ① 学校、病院、老人ホームなどに設けられるもので、生徒、患者、老人等の通行の危険を防止するために必要なもの
- ② 建築物の 5 階以上の階に設けられるもので、その建築物の避難施設として必要なもの
- ③ 人の通行または物品の運搬に供し交通の緩和に寄与するもの



参考資料 (Googlemap より)

材料についても令 145 条 1 項 3 号に定められています。

ペDESTリアンデッキのように、道路の上空に設けられる建築物にあつては、屋外に面する部分は、落下のおそれのある材料の使用が禁止されています。例として、ガラス（網入りガラスを除く）、瓦、タイル、コンクリートブロック、飾石、テラコッタなどです。

ペDESTリアンデッキについて見てきましたが、実は、日本で最初にペDESTリアンデッキが設置されたのは千葉県の柏駅なのです。

1973 年（昭和 48 年）、柏駅東口の市街地再開発事業により、郊外型の新しいベッドタウンとして開

発されました。その際、車で駅に向かうことを予測して、車のルートと人のルートを分離した計画とし、ペDESTリアンデッキが設置されることとなりました。



柏駅ペDESTリアンデッキ (Googlemap より)

千葉県がペDESTリアンデッキの発祥の地とは、何だか誇らしいですね。

ペDESTリアンデッキは、通路としてだけでなく、人が集まる場所としても活用されるようになってきました。トイレやベンチが設置されたり、イベント広場として使われることもあります。

また、阪神淡路大震災では、駅前広場が復興支援の拠点となり、ボランティアの活動場所として活用されました。これらのように、単なる歩車分離の利用から機能を持った歩廊へと変化してきています。



永山祐子建築設計 HP より

こちらは東京駅前の常盤橋に 2027 年に完成する

TOKYO TORCH Torch Tower の低層部のデザインです。ぐるぐると巻き付いているようなペDESTリアンデッキは、2km に及ぶ「空中散歩道」。低層部とはいえ高さは約 60m あります。

このペDESTリアンデッキは、公共用歩廊とみなされ、容積率の対象外になるとのことでした。とても大きな緩和です。

『皇居ではなくこの場所をマラソンコースとして走る人も出てくるだろう。「日本を明るく元気にする」というコンセプトを体現している。』

永山祐子建築設計 HP より

高さ 60m のまさに「空中のマラソンコース」



現状工事現場

早速、現地に行ってみました。まだ、着工したばかりでしたが、写真を撮影したのは向かいにある TOKYO TORCH の 2 層目。完成したら、ぜひ空中散歩 (マラソン?!) に行ってみたいですね。



永山祐子建築設計 HP より

～成田山新勝寺の初日の出～

百瀬 登展 (行政 OB)

成田山新勝寺の初日の出です。2024年元旦の朝7時ころ撮影したものです。

成田山新勝寺は初詣に毎年300万人以上の人を訪れます。元旦は午前0時の一度目のピークから午前4時くらいまでに多くの人々が参拝します。午前7時ころから、また参拝者が増え始め、終日、参道まで列が出来て入場規制がかかるほど多くの人を訪れます。

この間の朝5時から6時くらいは、比較的空いていて、並ばずに境内に入れます。成田市在住の私は毎年朝6時半ころ大本堂で初詣し、7時ころの初日の出も拝んで帰宅します。

境内には多くの寺院建築があり、江戸時代の建築で国の重要文化財の指定を受けているものも何棟かあります。私は社寺建築に詳しいわけではありませんが、建築士として、ただで興味を引くものも多数あります。仁王門の壁に4枚使われている檜の一枚板は1.7m×2.2mもの大きさです。木造柱のピロティー形式の額堂と言う建物は、目立たないように鉄骨を使って耐震補強してあります。写真の建物は平成4年建立の聖徳太子堂です。

振り返ってみると、この初日の出の写真の9時間後に能登半島地震が発生したのです。建物倒壊により多くの方の人命が奪われ、多くの方が住む所を失いました。少しずつ良くなっているようですが、2024年9月の能登豪雨もあり、未だに復旧・復興したと言える状態ではないかと思えます。

被災した方々が一日も早く以前の生活に戻れることを祈り、併せて、2025年令和7年が平穏な年であることを祈ります。千葉県建築士会にとっても良い年になりますように。

～会員の動静～

令和6年10月2日～令和6年12月1日

会員数 (1,466名)

1) 新会員

○船 橋 石橋 一彦 船橋市西習志野

○野田流山 大貫 浩靖 流山市鱈ヶ崎

○海 匝 磯野 美智子 旭市飯岡

2) 会員の異動

(支部移籍)

○その他→鎌ヶ谷 岩見 健治

～編集後記～

明けましておめでとうございます。市川・浦安支部の網代です。ご存知の方もいるかもしれませんが、私は建築士資格を有しておらず、普段は弁護士をしています。そんな私が千葉県建築士会と広報委員会に入会してから、早いもので1年8か月が過ぎました。

本誌に連載させていただいている「～弁護士アジローがゆく～」もご好評を頂戴しており、支部交流会などで「連載記事、読んでいます!」とお声を掛けていただくことも増えてきました。執筆者としてこれ以上嬉しいことはありません。読者の皆様、あらためて感謝申し上げます。

『建築士 CHIBA』は、我々広報委員会が熱意を持って企画・取材・執筆・編集作業にあたり出来上がったものです。ぜひ、お手にとって読んでみてください。今後もアイデアを振り絞って、紙面のブラッシュアップに努めていく次第です。

末筆となりますが、いつもお世話になっている広報委員の皆さん、連載記事執筆のきっかけを与えてくださった武田委員長、建築士会と広報委員会に勧誘してくださった山中委員、編集作業をしてくださる事務局の黒澤さんに感謝申し上げます。

網代 真治